



# 池田市政がスタート

11月18日、任期満了に伴う中野市長選挙の投票が行われ、池田茂さんが初当選しました。

池田市長は、11月26日、市役所前に集まった約200人の市民の皆さんや市職員らの拍手に迎えられ、初登庁しました。

続いて行われた就任式では、職員に対し「身の引き締まる思い。事を成すに当たっては、皆さんの協力が大切。一緒に楽しく市政を前向きに持って行きたい」と、あいさつしました。

その後は、就任記者会見や北信広域連合、北信保健衛生組合、岳南広域消防組合で訓示を行うなど、初登庁当日から精力的に公務をこなし、新しいスタートを切りました。



# 就任のごあいさつ

中野市長 池田 茂

このたび市長に就任いたしました池田茂です。ふるさと中野市に戻り、改めて素晴らしい地域だと思いを新たにしております。中野市を元気にしたい、もっと知ってほしいとかねがね思っております。今は、市長として市民の皆さまの先頭に立って、皆さまの期待を一身に集め、市政に取り組んでいきたいと思っております。

中野市のこれからを考えるとき、取り巻く環境には大きな変化があります。一つは人口減少社会に入ったこと。少子高齢化の中で、市の財政もその影響を大きく受けることです。わが国経済をみると経常収支ではすでに赤字が続いており、経済環境は大きく変容してきております。また、近隣の情勢をみますと、新幹線飯山駅の開業が平成27年の春開業と迫り、人の流れや物流が大きく変わることが予想されます。何もしなければ、人の足は遠のいてしまします。地域から人が少なくなるというところは経済そのものの活力がおのずと減じていくということを意味します。これからは皆さんと一緒に夢のあるまちづくりを挑み、人が住みたくなるまちを作り上げていかなければなりません。

中野市には地域力があります。人々を魅了する自然、風土、歴史的資産や祭りなど観光資源がたくさんあります。キノコ、リンゴ、ブドウなど豊富な農産物があります。また、新たに再構築が始まった北信総合病院を中心とした充実した医療環境もあります。お年寄りや体の不自由な方も安心して暮らせるまちづくりも、これまで市政に携わられてきた歴代の市長により着実に進んできています。これらを積極的に域外に宣伝し、シテイセールスすることで、まちを訪れる人が増加し、経済も活性化し、やがては私たちの暮らしもよくなるといったシナリオは必ずあるはずですから、中野市は天領として東京（江戸）と直結していました。ここ中野はいわば地



▲職員を前に就任のあいさつ

域における情報発信の拠点でした。今、また、中野を強く輝くまちにするためには、都市圏との交流が必要で、私たちに域外の人を受け入れるすばらしいもてなしの「ころ」があります。知ってもらって、来てもらい、交流する中で、知恵を交換し、中野市の魅力を再発見し、発信する。北信州の中心都市として私たちは自信を持って、外に向かつて拓く新しい中野市を創ることができると信じています。次の時代を担う若い人たちが夢と生きがいをもって暮らせるまち、芸術・文化・スポーツ活動に花開くまち。そうしたまちには必ず集まってくれます。人を魅了してやまない中野市を皆さんと一緒に創っていきたくて考えています。

私は市政の基本は市民の皆さまそれぞれ思いや考えの中にあると考えます。どうか貴重なご意見や思いを私にお知らせください。私もできる限り皆さんの声を聴きに伺います。自らの地域は自分たちで創る。意見を交わし思いを共有し、一緒に新しい元気でわくわくする中野市を創りましょう！どうぞよろしくお願いたします。